

現地からのお便り

事業の2年目がはじまりました。わたしたちは、植林した苗の世話を続けています。2009年6月から雨が降らず、植林した苗の4割が枯れてしまいました。木が小さいうちは乾燥に弱いのです。9月中旬から雨が降り始めたため、枯れた苗を新しい苗と植え替えています。乾燥に強い苗と弱い苗がありますが、すべて乾燥に強い苗にすると、逆の環境に弱くなってしまうこともあるので、多様な苗を混ぜて植えることが重要です。子供の頃に才能を表わす人も、大器晩成の人もいて、多様です。木もさまざまです。植林活動はすべて公園スタッフとコミュニティに相談して行われています。

環境教育について



(c) Conservation International, Photo by Anton Ario

2009年8月に、イスラム学校や小学校など4つの学校を訪問しました。各学校とも50人ほどの子供たちが環境教育プログラムに参加しました。プログラムでは、プレゼンテーションやビデオ、ゲーム、クイズ、移動図書館の本、音楽、話し合いなどを通じて、環境保全について学びます。

わたしたちは、ビデオを上映して「自然環境を守ろう！」というメッセージを伝えています。また、日本の小学校の子供たちの環境教育のためのショートビデオも制作しました。このビデオは、国立公園の周辺にある小学校で撮影しました。学校を訪問し、環境教育の活動を小学生たち対象に行い、環境保全に対する意見を聞くためのインタビューを行いました。



(c) Conservation International, Photo by Anton Ario

国立公園の生き物調査



(c) Conservation International, Photo by Anton Ario

わたしたちは、国立公園内の生物多様性調査とモニタリングを行っています。今期は、とくに希少種のジャワヒョウのモニタリングに力を入れています。カメラトラップも継続しています。国立公園の中に10ヵ所カメラを設置してほかの生き物についてもデータを集めています。



(c) Conservation International, Photo by Anton Ario

画像および文章の無断転用はご遠慮下さい。